

2024 年度上期

地域密着型金融の取組状況 ～金融仲介機能のベンチマーク～

2024 年 11 月



2024年度 地域密着型金融取組方針

方針1

事業性評価に基づく伴走支援を強化します

- (1) お客さまと信頼関係を構築し、事業性評価活動を強力に推進します
- (2) 支援態勢の充実を図り、金融仲介機能を強力に発揮します

方針2

くらしに関わる課題解決を強化します

- (1) ライフサイクルに応じた最適な課題解決策を提案します
- (2) 相談態勢の充実を図り、くらしのワンストップデスクを構築します

方針3

地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底します

- (1) 多方面との連携を強化し、主体的にまちづくりと経済活性化を推進します
- (2) 金融教育活動や芸術・文化・スポーツ振興に積極的に取り組みます

方針1. 事業性評価に基づく伴走支援を強化します

「資金繰り支援」

中期経営計画の重点施策である「事業性評価に基づく伴走支援を強化する」のもと、お客さまが本業に専念できる環境を構築できるよう資金繰り支援に全力で取り組んでいます。

【主な取組事項】

- ◇ 営業店と本部が協働し、事業内容を十分理解し課題を共有したうえで、より深く事業者さまに寄り添い解決策を提案する「事業性評価に基づく伴走支援」を強力に推進
- ◇ 資金繰り安定化のため、短期資金の導入や借入条件の見直し等を実施
- ◇ 「旭川しんきん事業者応援カードローン(しろくまリンク)」を新設し、本業回復に専念できる体制の構築をサポート
- ◇ コロナ融資先に対し、伴走支援型特別保証制度を活用した支援を実施 ※同制度は2024年6月で取扱終了
- ◇ 日本政策金融公庫と提携し、SDGsの普及・啓発を目的とした「旭川しんきん SDGsサポートローン」を導入(2024年7月から12月までの限定商品)
- ◇ 「経営者保証に関する取組方針」に基づき、経営者保証を求めないことや経営者保証の機能を代替する融資手法の活用をお客さまの意向を踏まえて検討

◇メイン先（融資残高1位）数・割合の推移

〔単位：社〕

	2022/9	2023/9	2024/9
全与信先	5,434	5,515	5,513
うちメイン先	2,189	2,156	2,274
割合	40.3%	39.1%	41.2%

◇ライフステージ別の融資先数・融資残高

〔単位：社、億円〕

		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
融 資 先 数	2022/9	705	288	2,366	331	212
	2023/9	703	342	2,382	282	221
	2024/9	718	437	2,473	187	210
融 資 残 高	2022/9	201	141	946	107	105
	2023/9	216	164	996	82	93
	2024/9	215	198	1,007	66	10

●創業期…創業、第二創業から5年まで、成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超、安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%から80%、低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満、再生期…要管理先・破綻懸念先・実質破綻先(創業期を除く)+条件変更先

◇地域応援ファンド（しろくまファンド関連商品）の実績

〔単位：件、百万円〕

	2022/4～2022/9	2023/4～2023/9	2024/4～2024/9
件数	62	65	125
金額	3,714	3,871	4,496
ニューマネー	3,070	3,231	4,096

→ 既存のしろくまファンドに加え、2024年度から新たに事業者応援カードローン(しろくまリンク)の販売を開始したことから、件数が大幅に増加

◇経営者保証のガイドラインの活用状況

〔単位：件〕

	2022/4～2022/9	2023/4～2023/9	2024/4～2024/9
新規に無保証で融資した件数	495	1,123	1,110
保証契約を解除した件数	71	512	64
新規融資件数	2,107	2,437	2,173
新規融資件数に占める経営者保証に依存しない融資割合	23.49%	46.08%	51.08%

→ 2023/9期は、2023年4月の金融庁監督指針の改正とそれに伴う当金庫の経営者保証に関する取組方針の変更により、保証人を徴求しない融資と保証契約の解除が大幅に増加

方針1. 事業性評価に基づく伴走支援を強化します

「創業支援」

創業計画の策定支援や資金計画のアドバイス等、創業に関する幅広いサポートを行っています。

また、毎年「旭川しんきん創業アワード」を開催し、地域の活力を促す事業に果敢にチャレンジしている創業間もない事業者さまの表彰を行っています。



「経営改善・再生支援」

北海道中小企業活性化協議会等とも連携し、経営改善や事業再生支援に積極的に取り組んでいます。

【主な経営改善・事業再生施策】

1. 北海道中小企業活性化協議会を活用した再生支援
2. 北海道中小企業活性化協議会を活用した改善計画策定支援
3. 北海道信用保証協会を活用した経営力強化支援
4. 専門家派遣制度
5. 再生ファンドを活用した再生手法

◇創業支援先数

〔単位：先〕

	支 援 内 容				
	創業計画の策定支援	プロパー融資	信用保証付き融資	政府系金融機関や創業支援機関の紹介	ベンチャーへの助成金・融資・投資
'22/4～'22/9	72	8	49	0	0
'23/4～'23/9	41	3	53	0	0
'24/4～'24/9	57	6	44	3	0

◇創業融資実績

〔単位：件〕

	2022/4～2022/9	2023/4～2023/9	2024/4～2024/9
融資取扱件数	55	56	50

→ 2024/9 期の融資取扱件数内訳は、建設業 7(-6)、飲食業 7(±0)、製造業 7(+4)、介護関連 6(+4)、サービス業関連 5(-2)、小売業 4(-1)、理美容業 4(-1)、その他 10(-4)

◇外部機関活用件数

〔単位：件〕

	2022/4～2022/9	2023/4～2023/9	2024/4～2024/9
北海道中小企業活性化協議会(再生支援)	3	3	5
北海道中小企業活性化協議会(改善計画策定支援)	3	3	1
合 計	6	6	6

◇メイン先のうち経営指標が改善した先

〔単位：社、億円〕

	メイン先			うち経営指標が改善した先		
	2022/9	2023/9	2024/9	2022/9	2023/9	2024/9
先 数	2,189	2,156	2,274	1,558	1,646	1,744
融資残高	982	966	1,041	780	774	828

●経営指標が改善した先＝売上・売上高営業利益率・労働生産性・従業員数のいずれかが増加または良化した先

◇貸付条件変更先の状況

〔単位：社〕

	条件変更総数	計画1期目未到来先等	好調先	順調先	不調先
2022/9	159	77	12	37	33
2023/9	160	81	9	44	26
2024/9	148	71	11	48	18

●好調先＝売上目標比120%超、順調先＝同80%以上～120%以下、不調先＝同80%未満

方針1. 事業性評価に基づく伴走支援を強化します

「専門家派遣・外部支援機関の活用」

事業承継、販売促進、補助金申請等、事業者さまの持つお悩みについて、外部専門家や外部機関と連携し、ともに解決策を考え、実行しています。

【主な連携事項】

1. 事業承継（親族内外承継、M & A 等）
2. 販売促進（販路開拓、広告宣伝、新商品開発 等）
3. 補助金申請（事業再構築、IT導入 等）
4. 経営改善（財務体質安定化、収益力強化 等）

◇ 専門家派遣件数

〔単位：件〕

	専門家派遣件数	うち、 事業承継	うち、 販売促進他
'22/4～'22/9	151	31	120
'23/4～'23/9	122	45	77
'24/4～'24/9	45	17	28

→ 2023/9 期は、事業承継のうち親族内相談件数が大幅に増加

→ 2024/9 期は、保証協会が販促等の専門家派遣を大幅に縮小。また、課題解決推進部内の体制変更等もあり、事業承継も減少

◇ 販路開拓支援先

〔単位：社〕

	販路開拓支援先	うち、地元	うち、地元外	うち、海外
'22/4～'22/9	45	36	1	8
'23/4～'23/9	69	58	5	6
'24/4～'24/9	33	24	8	1

● 地元 = 旭川エリア、富良野エリア

● 販路開拓支援先 = ビジネスマッチング解決先 + 商談会・販売会・駅マルシェ・FOODEX JAPAN 参加先

→ 2024/9 期は、課題解決推進部の担当人員減に伴い取扱件数が減少

「トライアルワークセンター」

期限付きの就業体験を特長とする「トライアルワークセンター」を通じて、求職者と求人事業者のマッチングに取り組んでいます。さらに、外部機関とも連携し、経営幹部や専門人材等を必要とする事業者さまのニーズにもお応えできる態勢も整えています。



求職紹介者数 累計 302 名
職場体験受入数 累計 211 名
就職者数 累計 122 名

(2024 年 9 月末現在)
※ 2020 年 9 月 1 日開設

「旭川しんきんSDGs経営支援サービス」



「SDGsと地方創生の推進に関する包括連携協定」を締結している東京海上日動火災保険(株)と連携し、「SDGs経営診断ツール」を活用したSDGs取組チェックや診断レポートの提供、さらに、同レポートに基づく「SDGs行動宣言書」の策定支援を行っています。

方針2. 暮らしに関わる課題解決を強化します

「高齢のお客さまへの取り組み」

高齢のお客さまやそのご家族が抱える不安を解消し、家族全員が安心して地域でくらしたいけるよう、様々な情報提供や商品提案を実施しています。

【主な取組事項】

- ◇ お客さまの状況に合わせたベストな情報提供(生前贈与の非課税制度、遺言信託等)や商品提案(一時払い終身保険、相続信託等)を実施
- ◇ 社会福祉協議会や包括支援センターと連携し、介護サービスや成年後見制度等の情報を提供
- ◇ ライフステージに関する全般的な考え方や資産運用に関する勉強会を実施し、職員の提案力を強化

「旭川しんきん結婚相談所 A・YELL(アエール)」

結婚を望む方々に「お相手の紹介から交際までの支援」を通じ良きパートナーとの出会い・結婚へのサポートを行っています。



累計会員 647 名
(男性 307 名、女性 340 名)

在籍会員 273 名
(男性 144 名、女性 129 名)

結婚組数 35 組
(2024 年 9 月末現在)

「資産づくりへの取り組み」

資産運用の経験やライフステージによって選択すべき商品や運用方法が一人ひとり異なることから、現況を十分にお聞き取りしたうえで、お客さまに合った商品・サービスを提供しています。



「インターネットサービスの拡充」

スマホアプリを利用して登録口座の残高や入出金明細の照会ができる「バンキングアプリ」等、インターネットを通じたサービスの拡充に努めています。



「預かり資産勉強会」

若手職員に預かり資産に関する知識やセールス話を学んでもらうため、当金庫の預金マイスターによる預かり資産勉強会を開催しています。

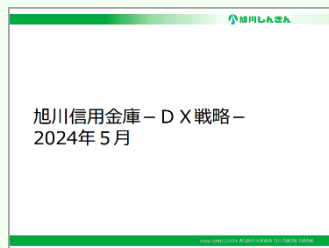


方針3. 地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底します

「地域のDX推進サポート」

2024 年5月に「DX戦略」を公表。その中で、当金庫のDX事例に基づいた提案を通じて地域DX支援に取り組んでいくこととしました。

さらに、2024 年9月には、組織としてのDX推進の意思を対外に示すため、経済産業省の「DX認定」を取得しました。



「駅マルシェ」

9 月 14～16 日の 3 日間、旭川市が開催する「食べマルシェ」と連携し、旭川駅で「駅マルシェ」を開催しました。85 事業者様が出店し、旭川駅内外に「食」の市場を出現させました。



「旭川しんきんユースチーム」

地元の高校生・大学生と当金庫若手職員が「旭川しんきんユースチーム」を結成。このチームで「まちなか賑わい STREET」の企画・運営、「買物公園社会実験」への参加、駅マルシェの一環で行われる「エキナカパフォーマンス」の企画・運営等、主に旭川中心部の活性化に取り組んでいます。



「カレンダーコンクール」

“旭川近郊の風景”の油彩・水彩画を一般公募する「旭川しんきんカレンダー絵画募集展」を毎年開催、その大賞作品を当金庫のカレンダーやディスクロージャー誌に採用しています。

